

Rotary



# WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2018～2019 年度 高山中央 RC 会長テーマ

「凡事徹底」～友情と情熱と行動と～



インスピレーションになるう

◆会長 高原 清人 ◆幹事 岩本 正樹 ◆会報委員長 道下 利一 ◆会報担当 植木 真吾

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 1178 回	55 名	55 名	40 名	—	72.73%
前々回 1176 回	55 名	55 名	48 名	0 名	87.27%

<点 鐘> 会長 高原 清人  
<ロータリーソング> 奉仕の理想  
<高山中央ロータリークラブ職業倫理基準>

<本日のゲスト>  
国際ロータリー第 2630 地区  
濃飛グループガバナー補佐 内田 幸洋 様

<会長の時間> 会長 高原 清人

皆さん、こんにちは。本日は内田ガバナー補佐がおいでになっております。

内田様はご存知の通り、高山西ロータリークラブの所属であり、2009-10 年には西クラブの会長もお務めになりました。本年、濃飛グループのガバナー補佐として、1 年間ご指導いただくこととなりました。後ほどご挨拶を頂戴したいと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。

さて、会員の皆様のお手元には、8 月 4 日に行われる「自然体験 ふれあいキャンプご協力のおかげ」が届いていることと思います。年度当初より「平塚・湘南 RC との交流事業」等であわただしく、会員の皆様に上手くお伝え出来ていないのではないかと思います、この場をお借りしてご説明並びにご参加のご協力をお願いしたいと思います。

まず、「自然体験 ふれあいキャンプ」は地区補助金事業であります。昨年度までは、親子ふれあい体験教室として木工製作を行ってまいりました。

この度事業を運営する協力団体として、ガールスカウト岐阜県連盟にお世話になっております。繋がりはと申しますと、以前ガバナー事務所にお勤めいただいた丸山さんが、ガールスカウト指導者であり、他愛のない話の中、「来年台湾のガールスカウトを招いて合同キャンプを計画しているが、事業資金不足で苦しい」との話をお聞きました。そこで、岩本幹事を含め数回ミーティングを重ね、これは RC の地区補助金事業に見合うのではないかと考え、補助金申請し採択を得、実施に向け、準備を重ねている現状であります。長瀬青少年奉仕委員長を筆頭に、委員会メンバーの皆様にはお世話を掛けているところです。

もうすでに 2 週間をきっており、準備のほうも佳境に入っております。が、現在のところ当クラブ参加メンバーは



12 名ほどとなっております。何分初めての事業でもあり、適正な人員は分かりませんが、子供、指導者を含め 135 名余の人員の誘導、補助にこの状態では到底人員不足が否めません。当日は移動例会であり、高山中央 RC の事業であることを今一度ご理解賜り、重ねてご参加のご案内を申し上げます。

加えて、お子様、お孫様連れもご参加いただける手はずとなっておりますので、併せて宜しくお願い申し上げます。

<幹事報告> 幹事 岩本 正樹

- ◎ R I 本部より
  - ・ザ・ロータリアン誌
- ◎ 国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より
  - ・訃報 服部芳樹パストガバナー  
2018 年 6 月 29 日ご逝去
  - ・「服部芳樹パストガバナー追悼研修セミナー」の  
変更のご案内
  - ・映画「プレス しあわせの呼吸」のご案内
  - ・2018-19 年度 地区大会のご案内  
日時：10 月 13 日(土)～14 日(日)  
会場：長良川国際会議場 および 岐阜都ホテル  
登録料：10,000 円
  - ロータリー米山記念奨学会より
    - ・ハイライトよねやま 220
  - 高山西ロータリークラブより
    - ・例会変更のお知らせ  
8 月 10 日(金)19:00～ 納涼ゆかた例会  
飛騨天満宮
    - 8 月 17 日(金)休会 定款により
    - 8 月 24 日(金)→26 日(日)  
高山西 RC 杯争奪  
高山市ソフトミニバレーボール大会  
第 70 回記念事業のため
- <高山市青少年育成市民会議より>
  - ・平成 30 年度少年野外活動の出役の依頼
- <活動計画書>
  - ・高山 RC ・可児 RC ・高山西 RC
- <会報>
  - ・高山 RC



## &lt;ガバナー補佐訪問&gt;

国際ロータリー第 2630 地区

濃飛グループガバナー補佐 内田 幸洋 様

皆さん、こんにちは。

6月に前ガバナー補佐の井尾さんと来させていただきましたが、今日は独りで参りました。

非常に緊張しておりますが、偉い人が前におられるので、「お前そんな事は無いぞ、それ間違つとるぞ」と言われそうですので、あまり難しい事は言いません。今年のRI会長の言葉は「インスピレーションになろう」という事です。これだけ見ると何の事だかさっぱり分かりませんが、歓喜せよとかですね。先程、話がありました服部芳樹PGさんの言葉を借りますと「燃えよロータリー」というような意味だそうでございます。是非、今年度はそんな事で「燃えよ」という事でやっていきたいなと思っております。この話につきましては何回かされておるので、これ以上話はしません。

高原会長の今年度の目標は、「凡事徹底」。いつもやる事を、簡単なことでしょうが、それを徹底してやるというような事と聞いております。是非、それをやっていただきたいと思っております。

そのプランにつきましては、本当に沢山のプログラムを持っておられます。本当によく出来るなと思っております。

それで皆さま方、これはロータリーの名を、ガバナーがおっしゃっているように対外的にPRしなければいけないという事です。高山中央クラブさんにおきましても、普段におけるPR活動も一生懸命やってもらうよう、お願いしたいと思います。

先日、高山ロータリークラブにも行ってきました。高山RCは高山で非常に古いクラブでございます。見ますと昭和30年ですから、昭和30年に創立、下呂RCが昭和36年でプラス6年、高山西RCが昭和41年で下呂RCから遅れる事5年、高山中央RCが平成3年ですから、私どもの30周年の時に創らさせていただいたというクラブだと思います。全国に今2270くらいのRCがありますが、そのうちの高山中央さんは1960番目という事で、全クラブの中では、まだ新しいクラブです。しかし、この新しいクラブが非常に活発な闊達な活動をしておられて本当に素晴らしいと思っております。

先週の金曜日には美濃加茂RCにも行ってきましたが、美濃加茂も活発にやっておられます。子供さんたちを集めてゴルフ大会をやってみたり、色んな新しい挑戦をしておりますし、下呂RCにつきましては、減塩活動です。食生活で塩を減らそうという活動をやって、今3年目という事を言っておられました。

そういう風に対外的に、自分だけで自分だけのクラブの中でマスターベーションするのではなく、外に向かって活動をしていきたい、それが、今から我々がやらなければならない事でないかなという風に思います。

その点で高山中央クラブさんは先を走っておられるという事でございますので、是非これを進めていただいて、私たちにご指導いただき、その活動の内容をこのグループに私が少しでもお知らせしていきたいと思っております。是非今後ともよろしくお願ひしたいと思います。

今日は第一回目という事で、また来月来ます。どうぞよろしくお願ひしたいと思います。それから9月21日が高山3クラブのガバナー公式訪問例会でございますので、是非手帳に書いておいてください。それから10月28日、何回も言いますが、IMでございますので、是非これも手帳に



お書きとめいただきたいと思っております。それではよろしくお願ひします。

## &lt;クラブアッセンブリー&gt;

## 情報/研修委員長

委員長：大保木 正博

副委員長：山本 辰男

委員：島良明・松之木映一・永井信次  
三枝祥一・剣田廣喜

高原会長より「IDMを重視し4回程度開催したい」との方針を受けて、夜間に勉強会と懇親会を行う形のIDMを2回と、例会前の時間を利用した勉強会形式のIDMを2回開催する計画としている。

日程については、新会員入会状況も加味して決定する。新会員の皆さんだけでなく、中堅少し以前の会員の皆さんにも参加いただき、ロータリー活動の意義について確認しあい、相互の意識高揚に努めたい。

## 【基本方針】

1. 会員にロータリーについての知識と情報を提供すると共に、ロータリーに所属し活動する意義を再確認し意識を共有する。
2. 新会員及び中堅以前の会員を中心に、ロータリー活動の意義を主眼に置いた勉強会(IDM)を開催し、会員相互の意識高揚に努める。
3. 新会員入会オリエンテーション時にロータリー情報を提供する。

## 【活動計画】

- |                |                             |
|----------------|-----------------------------|
| 平成30年9月～10月    | 第1回IDM開催                    |
| 平成30年10月22日(月) | 担当例会(IDM報告)<br>例会前に第2回IDM開催 |
| 平成31年1月～2月     | 第3回IDM開催                    |
| 平成31年2月25日(月)  | 担当例会(IDM報告)<br>例会前に第4回IDM開催 |

※IDM報告とは、IDM参加者による会員スピーチを含む

## 出席・プログラム委員長

副委員長は松之木映一さん、委員に平林英一さんで、基本的には昨年の橋本さんの動きを踏襲して参りたいと思っております。

## 【基本方針】

1. ロータリアンの基本である出席義務を確認し、例会出席率の向上を目指す。
2. ロータリー活動の共通理解と会員相互の交流を深めるプログラムの実施。

## 【活動計画】

1. 年間プログラムの作成と管理
2. 出席率の向上を目指し、会員の出席確認と優良出席会員の表彰
3. 当番制の例会時出席報告とスケジュールボード記入

## 【担当例会】

1. 平成30年10月15日 地区大会報告  
4～5名に依頼しますのでお願ひ致します
2. 平成30年11月12日 ベテラン会員のスピーチ  
3名程度お願ひ致します
3. 平成31年3月11日 会長エレクトの時間
4. 平成31年4月8日 軽スポーツ例会  
ボーリングを楽しみたいと思っております
5. 平成31年4月22日 地区研修協議会報告  
4～5名に依頼しますのでお願ひ致します
6. 来期第一例会に優良出席会員の表彰

大保木 正博



和田 良博



## 【予算】

ボウリング 50,000 円と優良出席会員のバッチ購入 50,000 円で、10 万円の予算を頂いております。

## 会報委員長 (代理) 久々野 国良

## 【基本方針】

クラブ内外の情報、各委員会活動等について、当クラブの会報発行を遅滞なく行い、ロータリー活動の理解を深めると共に会員相互のコミュニケーションの充実に努めます。



## 【活動計画】

- ・掲載記事は分かり易い内容とし、例会開催の都度、発行する。
- ・クラブ活動にかかる情報誌・記録紙として紙面の充実に留意する。
- ・各委員は、当番制で例会ごとに担当し、写真の撮影・卓話原稿の作成を行う。

## ニコニコ委員長 津田 久嗣

## 【基本方針】

会員、家族、事業について思う事をニコニコしながら発表し、会員全員で祝ったり、慰めたり、苦笑いしたりして例会の雰囲気盛り上げ、親睦に寄与すると共に集まったお金を奉仕活動資金とする。



## 【活動計画】

- ・ニコニコ委員 4 名にて、月ごとに担当して奉仕貢献が高い会員を表彰して記念品を贈呈する。
- ・目標額 50 万円に向けて、毎月委員もニコニコへ寄付すると共に、会員への増資をアピールして行く。

## 社会奉仕委員長 今井 俊治

委員長 今井俊治、副委員長に渡辺甚一さん、委員に西倉良介さん、高殿尚さん、高橋厚生さんで活動を行います。今年度は、会長の活動基本方針に基づき、地域連携に関して考える例会を行いたいと思います。幸いメンバーに副市長と県議会議員さんがみえますので高山市や岐阜県とのかかわりに関して機会が9月3日の例会に作れたらと思います。



環境問題に関しては来年4月1日に講師を招いた例会を考えています。具体的な内容については委員会を開催して検討していきたいと思いますので、委員会をはじめ会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

## 国際奉仕委員長 伊藤 正隆

グローバル補助金を活用し、高山中央ロータリークラブとして事業を展開するために担当の2回の例会に講師を招き卓話をしていただきます。12月10日には地区の奉仕プロジェクト部門・国際奉仕小委員会委員長の篠原一行氏(多治見リバーサイドRC)に地区で行ったグローバル補助金による具体的な事業展開の卓話をしていただきます。2月18日の担当例会は地区奉仕プロジェクト部門委員長の宮崎弘夫氏にグローバル補助金事業全体の卓話をお願いする予定です。



## ロータリー財団委員長

中田 学

## 【基本方針】

1. ロータリー財団の意義・目的・活動を知ろう。

## 【目標】

1. ロータリー財団年次寄付 一人 100 ドル以上
2. ポリオ・プラス寄付金 クラブで 1,000 ドル

## 【活動計画】

- ・奉仕プロジェクト部門 4 委員会の協力を得て「ポリオ撲滅募金活動」を行う。



## 米山記念奨学委員長

鷲塚 英雄

委員長：鷲塚 英雄

副委員長：直井 泰司

委員：村瀬 祐治(地区委員長)、  
山本 辰男(カウンセラー)

## 【基本方針】

昨年、ロータリー米山奨学会の財団設立 50 周年を迎え、今年度は世話クラブとしてベトナム人奨学生(レバンチさん)を受け入れた中で、当会の目的・事業内容について更なる理解を深め、寄付金への協力を得ながら活動の継続と充実に努めます。

## 【活動計画】

- ・平成 30 年 10 月 1 日(月)  
米山月間にあたり寄付の依頼と集金  
米山記念奨学地区委員長と奨学生の卓話
- ・平成 30 年 12 月 3 日(月)  
米山記念奨学地区委員長とカウンセラーの卓話  
奨学生(レバンチさん)の最終訪問日にスピーチ



## 青少年奉仕委員長

長瀬 栄二郎

委員長：長瀬 栄二郎

副会長：高橋 厚生

委員：下田徳彦・谷口欣也・鷲塚英雄・  
岡崎壮男・周信夫・小出貴博・  
都竹太志・大保木正博

今年度も、青少年育成の一助となる活動を推進し、「出前講座」を継続事業として実施させていただきます。

また、来月には自然体験として乗鞍青年の家において「ふれあいキャンプ」を開催させていただきます。総勢 150 名程度の大きなイベントとなりますので、多数の会員の皆さまのご協力を宜しくお願い申し上げます。

その他、本年度も継続して、インターアクトクラブの共同スポンサー、高山市青少年育成市民会議への補助を行わせていただきたいと思います。

継続事業として、引き続き取り組ませていただく事業ばかりですが、本年度も皆さまのご協力を宜しくお願い申し上げます。



## 青少年交換研究委員長

熊崎 元康

副委員長に二木さん、委員に高殿さん、

委員長 熊崎の3名で活動いたします。

基本方針としては、クラブ単独での青少年交換、並びにインターアクトクラブの創設の可能性を研究する。また、青少年育成の一助となる活動への参加となります。

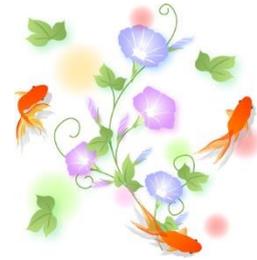
この基本方針については、過去、中央クラブの活動の中で、インターアクトクラブ設立と青少年交換がどのような経緯で進められ、また、どのような問題点から、設立、単独での交換がされなかったのかを、在籍年数の浅い会員にも



共通の認識として、過去の活動を知ってもらうことにより、今後この活動の可能性を再検討して頂くことを、目的としたいと思います。

また、予算としては、3月の担当例会と益田清風高校インターアクトクラブの共同スポンサーとして、下呂ロータリークラブに協力金として計上致しました。

一年間よろしく申し上げます。



<ニコニコBOX>

ガバナー補佐として初めて訪問させていただきます。本年はよろしく申し上げます。

**濃飛グループガバナー補佐 内田 幸洋 様**

内田ガバナー補佐のご来訪を歓迎致します。本日はよろしく申し上げます。

**理事役員一同**

国際ロータリー第 2630 地区濃飛グループガバナー補佐  
内田 幸洋 様のご来訪を歓迎申し上げます。

**三枝 祥一/清水 幸平/足立 常孝  
山本 辰男/伊藤 正隆**

本日早退させていただきます。申し訳ありません。

**下田 徳彦/高橋 厚生**